

## ざ・神港労連

水曜日

2024年5月28日

発行元 神戸港湾組合連合会教育宣伝部



## 24春闘閉幕!! 通算5回の交渉の末、満場一致で妥結!! 要求項目に於いても前進ある回答!!

2024年2月14日(水)日港労連・港荷労協による第1回港荷交渉が始まった。

24春闘は、昨今の物価高騰を受け、港湾労働に携わる仲間の生活は厳しさを増し、残業・夜勤・休日に依存する事で生活賃金を維持している。魅力ある港湾労働確立を原点に「3万円以上」に資する基準内賃上げ獲得に向け、全力で取り組むと表明した。

また、定年延長について2020年2月20日付確認書を基に、再度協議を行ってきたが産別協定である2025年までの65歳定年延長を実施するにあたり、同一労働同一賃金の考えに遡減措置がある現状について大いに不満であり、今春闘で解決していきたいと強く求めた。

以上の事を踏まえ、通算5回に渡る交渉を重ね各個別労使協議が整い、24春闘基準内賃上げが妥結された。また、要求項目の定年延長については専門委員会にて「議事確認」を基に周知徹底を図り履行する旨確認した。

4月25日、日港労連・港荷労協と港荷経協にて仮協定書を締結した。

神港労連安全部会より命懸けで現場就労する仲間へ熱中症対策の取り組みとして、各単組にスポーツドリンクを配布された。



今年は、2023年から発生していたエルニーニョ現象が終息し、その後、ラニーニャ現象が発生する可能性があると言われており気温が昨年以上になる予報となっている。現場で働く我々港湾労働者にとっては、マイナス要素であり、命を守る行動が必要である。

神港労連としても労働環境改善に向け、取り組まなければならない。

6/3より夏季一時金交渉がスタート!! 要求確立に向け、労使での話し合いが始まる。

昨年に引き続き物価高騰が続いている状況であり、組合員の賃金は春闘で年々上がってきてはいるが、実質賃金は追いついていないのが実情である。この夏季一時金に於いても組合員の重要な生活賃金であり、魅力ある港湾を目指す我々にとっては、前進ある回答を確保しなければならない。



～編集後記～

身近なニュース・出来事があれば記事として取り扱いますので、神港労連事務局までご連絡下さい。(取り扱いに関して事務局で精査した上で、掲載致します。)

☎ 371-5316

FAX 371-5340